

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社  
 コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以  
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	183,418	3.9	15,329	127.2	14,977	153.6	5,514	21.1
2019年3月期第3四半期	176,488	28.0	6,747	126.6	5,906	125.5	4,555	211.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,892百万円 (22.0%) 2019年3月期第3四半期 4,008百万円 (71.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.87	—
2019年3月期第3四半期	104.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	255,781	156,886	57.4
2019年3月期	261,590	153,781	54.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 146,702百万円 2019年3月期 143,407百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	△0.9	18,500	101.1	18,000	108.2	8,000	23.0	184.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	44,898,730株	2019年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,439,755株	2019年3月期	1,439,682株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	43,459,004株	2019年3月期3Q	43,419,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策効果により個人消費が比較的堅調に推移するなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中間の通商問題を巡る動向や英国のEU離脱の行方をはじめとする海外経済の不確実性等の要因により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要需要先である国内建設用鋼材市場では、建築・土木分野向けともに鋼材需要は盛り上がりを見せつつありますが、4月以降下落基調で推移してきた鉄スクラップ市況が底打ちし、11月より上昇に転じましたが、当初想定を下回る水準で推移したことから、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格の差額）は拡大しました。

海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいては、引き続き競合環境が厳しい状況ではありますが、全体として前年同期を上回る業績となりました。米国においては、鋼材需要は底堅く推移しておりますが、前期後半に高騰した製品市況が調整局面入りするなど、事業環境に変化が見られました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比6,930百万円（3.9%）増収の183,418百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比8,582百万円（127.2%）増益の15,329百万円、連結経常利益は同9,071百万円（153.6%）増益の14,977百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については、当第3四半期連結累計期間においてベトナム北部拠点の一つであるベトナム・イタリー・スチール社（VIS社）の固定資産（のれんを含む）について減損損失を計上しましたが、前年同期対比959百万円（21.1%）増益の5,514百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比5.2万トン減の125万トンとなりました。鉄スクラップ価格が前年同期対比7.7千円（21.3%）下落した一方、製品価格は同1.3千円（1.9%）上昇したため、売買価格差は9.0千円（28.0%）拡大しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比2,243百万円（2.3%）減収の94,646百万円、営業利益は同7,610百万円（129.6%）増益の13,484百万円となりました。

#### ② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナム及び米国にて鉄鋼事業を展開しております。

ベトナムにおいては、堅調な鋼材需要の下、原材料である鉄スクラップおよび半製品価格が軟調に推移したことから、業績は期初より概ね堅調に推移してきましたが、当第3四半期連結会計期間におきましては、一層の競合環境激化により製品市況が下落し、業績は厳しいものとなりました。

米国においては、鋼材需要は底堅く推移しているものの、製品市況が調整局面に入り軟化していること等により、収益面では減速傾向にあります。

以上の結果、売上高は前年同期対比9,270百万円（12.5%）増収の83,597百万円、営業利益は同1,000百万円（91.6%）増益の2,091百万円となりました。

#### ③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、鉄スクラップ価格下落の影響や処理コストの増加、スポット案件の減少などにより、売上高は前年同期対比160百万円（3.2%）減収の4,814百万円、営業利益は同121百万円（14.9%）減益の693百万円となりました。

#### ④ その他の事業

当事業部門については、子会社を通じた土木資材の販売および保険代理店業等のほか、ベトナムで港湾事業を展開しております。売上高は前年同期対比64百万円（21.4%）増収の361百万円となり、営業利益は同148百万円増益（前年同期は69百万円の損失）の80百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,604百万円（1.0%）減少し、160,312百万円となりました。これは、現金及び預金が7,838百万円増加し、受取手形及び売掛金が4,716百万円、商品及び製品が2,530百万円、流動資産その他が2,813百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4,204百万円（4.2%）減少し、95,470百万円となりました。これは、有形固定資産その他が1,089百万円、投資その他の資産その他が1,302百万円増加し、機械装置及び運搬具が2,991百万円、のれんが3,648百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5,808百万円（2.2%）減少し、255,781百万円となりました。

## （負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6,126百万円（7.7%）減少し、73,774百万円となりました。これは、未払法人税等が1,011百万円、流動負債その他が1,282百万円増加し、支払手形及び買掛金が4,300百万円、短期借入金が4,232百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2,788百万円（10.0%）減少し、25,121百万円となりました。これは、長期借入金が3,026百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8,914百万円（8.3%）減少し、98,896百万円となりました。

## （純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,105百万円（2.0%）増加し、156,886百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益5,514百万円、剰余金の配当1,738百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.8%から、57.4%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間におきましては、国内の鋼材需要は盛り上がりを欠く状況が続くと予想されますが、原材料である鉄スクラップ価格が想定を下回る水準で推移するものと見込まれるため、国内鉄鋼事業の業績は前回予想を上回る見通しです。海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいて厳しい状況が続くなか、米国も減速傾向にあることから、業績は前回予想を下回る見通しです。

以上により、2019年10月31日の「2020年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,133	49,971
受取手形及び売掛金	48,845	44,129
電子記録債権	14,854	16,826
有価証券	4,400	2,800
商品及び製品	26,360	23,830
原材料及び貯蔵品	18,535	18,939
その他	7,289	4,475
貸倒引当金	△500	△659
流動資産合計	161,916	160,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,028	20,324
機械装置及び運搬具(純額)	34,980	31,989
土地	24,249	24,319
その他(純額)	1,360	2,449
有形固定資産合計	81,617	79,081
無形固定資産		
のれん	3,944	296
その他	2,565	2,293
無形固定資産合計	6,508	2,589
投資その他の資産		
投資有価証券	8,120	9,069
その他	3,493	4,795
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	11,549	13,800
固定資産合計	99,674	95,470
資産合計	261,590	255,781

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,816	13,516
電子記録債務	4,673	4,179
短期借入金	40,857	36,625
1年内返済予定の長期借入金	3,861	3,802
未払法人税等	2,053	3,064
賞与引当金	718	1,384
役員賞与引当金	2	2
その他	9,920	11,203
流動負債合計	79,900	73,774
固定負債		
長期借入金	24,069	21,044
繰延税金負債	730	508
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
役員退職慰労引当金	12	—
退職給付に係る負債	74	72
その他	591	1,065
固定負債合計	27,909	25,121
負債合計	107,809	98,896
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,141	21,141
利益剰余金	98,550	102,360
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	136,507	140,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	1,156
繰延ヘッジ損益	32	△194
土地再評価差額金	4,625	4,625
為替換算調整勘定	1,251	718
退職給付に係る調整累計額	206	81
その他の包括利益累計額合計	6,900	6,387
非支配株主持分	10,374	10,183
純資産合計	153,781	156,886
負債純資産合計	261,590	255,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	176,488	183,418
売上原価	159,207	157,141
売上総利益	17,282	26,278
販売費及び一般管理費	10,535	10,949
営業利益	6,747	15,329
営業外収益		
受取利息	437	518
受取配当金	156	141
持分法による投資利益	8	536
その他	286	256
営業外収益合計	887	1,451
営業外費用		
支払利息	1,135	1,488
為替差損	520	256
その他	74	60
営業外費用合計	1,728	1,803
経常利益	5,906	14,977
特別利益		
固定資産除売却益	23	16
段階取得に係る差益	549	—
受取保険金	269	36
その他	—	9
特別利益合計	842	61
特別損失		
固定資産除売却損	312	489
減損損失	—	4,481
災害による損失	178	21
PCB廃棄物処理費用引当金繰入額	—	46
その他	40	66
特別損失合計	529	5,104
税金等調整前四半期純利益	6,218	9,934
法人税等	1,927	4,233
四半期純利益	4,291	5,701
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△264	187
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,555	5,514

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,291	5,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△665	371
繰延ヘッジ損益	295	△261
為替換算調整勘定	83	△794
退職給付に係る調整額	4	△125
その他の包括利益合計	△283	△809
四半期包括利益	4,008	4,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,232	5,000
非支配株主に係る四半期包括利益	△224	△108

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

一部の在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が当第3四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

（セグメント情報等）

I 前第3四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	96,889	74,327	4,975	176,190	298	-	176,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	-	820	846	216	△1,061	-
計	96,914	74,327	5,795	177,036	514	△1,061	176,488
セグメント利益又は損失（△）	5,874	1,092	814	7,780	△69	△965	6,747

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。
- 2 「セグメント利益又は損失（△）」の調整額△965百万円には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△978百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
- 3 「セグメント利益又は損失（△）」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

2018年5月14日にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化いたしました。これにより、海外鉄鋼事業セグメントにおいてのれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては3,663百万円であります。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	94,646	83,597	4,814	183,057	361	-	183,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	-	730	793	362	△1,155	-
計	94,709	83,597	5,545	183,850	723	△1,155	183,418
セグメント利益	13,484	2,091	693	16,268	80	△1,019	15,329

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、土木資材販売業・保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,019百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,017百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、ベトナム・イタリー・スチール社の収益性が低下したことに伴い、固定資産(のれんを含む)について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、4,481百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、前連結会計年度にベトナム・イタリー・スチール社の株式の追加取得を行い子会社化したことに係る暫定的な会計処理は、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前第3四半期連結累計期間ののれん金額の重要な変動は、当該見直し後のものを記載しております。

また、海外鉄鋼事業セグメントにおいて、減損損失を計上したため、これに伴いのれん金額が3,263百万円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。